

## 第33回クリーンセンター滋賀環境監視委員会会議概要

1. 日時 平成28年2月 26 日(金) 14:15～16:30

2. 開催場所 クリーンセンター滋賀 研修室 他

3. 出席者 環境監視委員

学識経験者:金谷委員長

住民代表:中島(茂)委員、廣岡委員、

中邨委員、中島(仁)委員

事業者:乾委員、深川委員

滋賀県:谷口委員

甲賀市:吉村委員、中島委員、矢田委員

公社:中村委員

事務局:公益財団法人滋賀県環境事業公社

〔 中村副理事長、木村所長、内藤副所長  
奥野次長 〕



4. 議事概要

(1). あいさつ(公社 副理事長)

(2). 活動内容報告

1)水質調査結果について.....資料1

2)硫化水素自主測定結果について.....資料2

3)搬入実績について.....資料3

4)放射線の自主測定結果について.....資料4

### 【主な意見および質疑】

(水質検査結果について)

・浸出水原水の COD 濃度が上昇している。どのような処理を行っているのか？

→現在は、生物処理、砂ろ過で水処理をおこなっている。COD 濃度が上昇してきたので、生物処理での処理時間を増やし、より有機物が分解できるようにしています。

・COD 同様、窒素(T-N)についても、濃度が上昇している。窒素の除去は、生物処理での処理時間を増やすだけでは進まないのではないのか。

→施設の処理能力には、まだまだ余裕があり、COD の除去が十分できない場合に備えて、活性炭処理を行うよう準備を進めています。これにより、窒素も除去できるものと考えています。

・このまま濃度は上昇を続けるのか？

→今後も上昇が続くのか、現状程度にとどまるのかは今後の推移を見ていく必要があると考えていますが、水処理施設を設置するにあたっての計画原水濃度と比べるとまだ低い値であり、水処理については問題ありません。

・水処理工程がわかるような資料を示してほしい。

→了解しました。

(硫化水素自主測定結果について)

・他の最終処分場に対して、アンケートを実施したのであれば、その調査結果も示してほしい。自主測定結果だけでは、硫化水素濃度が高いのか低いのか判断できない。

→アンケートは、緊急的に硫化水素対策を検討するために実施したものであり、硫化水素の発生状況を把握するために行ったものではありません。また、各処分場ごとに事情が異なるため、広く一般に、情報を把握することは難しいものと思われます。

・他の最終処分場では、どのような対策が施されているのか？

→脱硫剤を使用し、硫化水素の除去を行っている処分場もありました。当施設でも、採用できないものか、実験を開始しています。

・脱硫剤による硫化水素の除去は検証が必要であり、県内の大学にも、硫化水素対策に精通している先生もおられるので、相談に行ってください。

→了解しました。

・以前から何度も申し上げているが、安全に関しては十分すぎるくらい十分に対応していただきたい。

・測定値が高い地点はもちろんであるが、突然、濃度が高くなることがあることから、ガス抜き管についてはすべてが危険であるということをも十分周知徹底されたい。

→引き続き、作業員への安全教育やガス抜き管位置の明示など徹底していきます。

(搬入実績について)

・硫化水素発生抑制のためにも、建設系混合廃棄物に含まれている廃石膏ボードを分けて処分したほうが望ましい。

→平成 28 年4月からは処理料金の値上げを予定しており、その中でも、建設系混合廃棄物の処理料金の上げ幅が大きくなる予定です。建設系混合廃棄物の受入を停止するのは困難ですが、選別が進み、廃石膏ボードを含む建設系混合廃棄物の搬入は減少するものと思われます。

(その他について)

・放射線測定については、特に問題がないという確認として継続して行っていただきたい。

・埋立地上部から現在の埋立状況を視察。



◎次回、環境監視委員会は8月ごろに開催予定。